

武雄市電子入札システムご利用までの流れ

電子入札のご利用にあたり、必要な準備をご説明します。

電子入札システムを初めてご利用になる方

下記 1～6 までの全ての準備と設定が必要です。

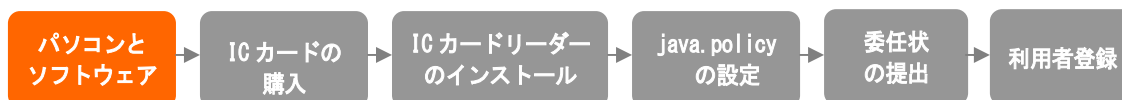
国土交通省・佐賀県等他団体の電子入札コアシステムを既にご利用されている方

「通信回線の確認」「4. java. policy ファイルの設定」「5. 委任状の提出」「6. 利用者登録」の設定が必要です。

※通信回線の確認について

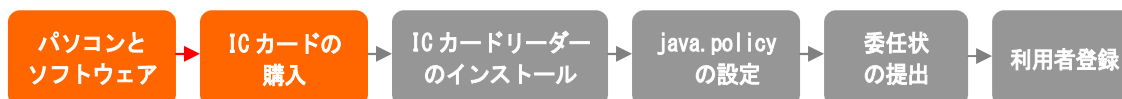
電子入札に参加するにあたり、LDAP という通信プロトコルが必要です。セキュリティ設定が厳しい環境では、LDAP を使えない場合も考えられるため、社内ネットワーク管理者、又はご利用のプロバイダへのご確認をお願いします。

1. 必要なパソコンとソフトウェア



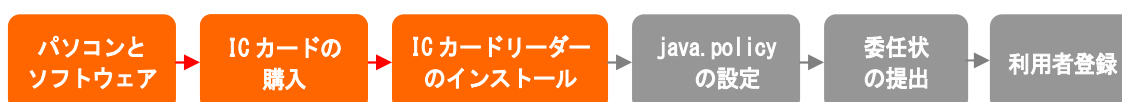
お持ちのパソコン(ハードウェア・ソフトウェア)が武雄市電子入札システムの推奨仕様と適合しているか、[■利用のための PC 環境設定](#) を参照してください。また、必要に応じてポップアップブロックの解除を行ってください。

2. ICカードの購入



武雄市電子入札システムをご利用いただくためには、武雄市の入札参加資格者名簿に登録されている代表者（受任者を登録されている場合は受任者）名義の IC カードが必要です。対応の IC カードをお持ちでない方は電子入札コアシステム対応の認証局よりご購入ください。IC カードのお申し込みから取得まではおよそ 2 週間～1 ヶ月ほどかかります。

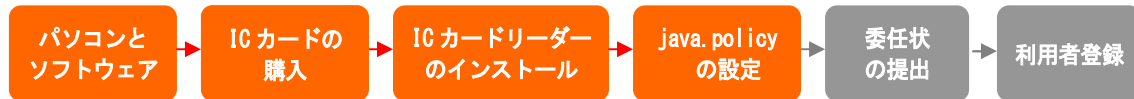
3. ICカードリーダーのインストール



IC カード、IC カードリーダーが認証局より届きましたら、付属の設定マニュアルに沿って、IC カードリーダーのインストールを行ってください。インストール方法に関するお問い合わせは IC カードを購入した各認証局までお願いします。インストールに不備があった場合、

武雄市電子入札システムを操作する際にデバイスエラーが発生する可能性があります。
※この作業はお使いになるパソコン毎に行っていただく必要があります。

4. java. policy ファイルの設定



武雄市電子入札システムをご利用いただくために、java 環境ファイル『java. policy』を更新する必要があります。

『環境設定ツール』は各認証局によって、ICカードリーダーに添付、もしくはホームページよりダウンロード等で提供されています。詳細は各認証局にお問い合わせください。

設定済み Java ポリシー数が少ない方が、電子入札システムの処理が速くなります。
ご利用になる発注機関のみ設定されることをお勧めいたします。

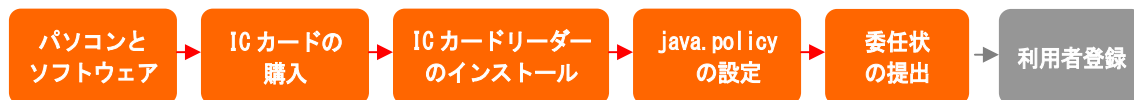
環境設定ツールにて 下記アドレスをご登録ください。

<https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/>

※http ではなく、**https** です。お間違いにご注意ください。

※この作業はお使いになるパソコン毎に行っていただく必要があります。

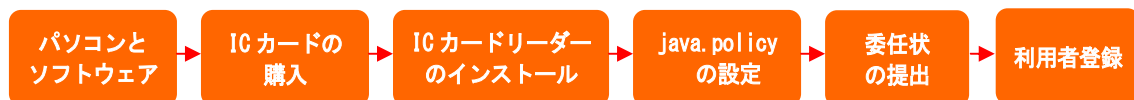
5. 委任状（電子入札用電子証明書届出書）の提出



武雄市の電子入札では、予め入札参加資格者からICカードの内容を記載した「委任状（電子入札用電子証明書届出書・様式第1号）」（紙媒体）を提出していただく必要があります。

この委任状は、入札参加資格を有する法人（又は個人）の代表者からICカードの所有者である個人への委任を意味します。委任状を提出し、委任されたICカードを使用することにより武雄市の電子入札に参加できるようになります。

6. 利用者登録



武雄市電子入札システムから、電子入札の利用者登録を行ってください。利用者登録の詳細は、■ マニュアル をご参照ください。

ご登録が完了しましたら、武雄市電子入札システムをご利用できます。